

集落営農経営計画策定支援システム			
[要約] 集落営農経営計画策定支援システムを開発した。当システムを利用することで、集落営農における経営試算を短時間で簡易に実施できるとともに、経営環境分析に基づく経営ビジョンの策定を支援できる。			
農業技術振興センター・栽培研究部・作物担当		[実施期間] 平成16～18年度	
[部会] 農産	[分野] 新たな研究分野	[予算区分] 国庫	[成果分類] 普及

[背景・ねらい]

品目横断的経営安定対策等により担い手重視の政策転換が進められる中、集落営農の組織化や経営確立に向けた活動が展開されている。しかし、経営試算の作成・分析及び経営ビジョンの策定に多大な労力と時間を要している。そこで、集落営農リーダー（集落リーダー、関係機関）による経営試算や経営ビジョンの策定を支援する手法を開発する。

[成果の内容・特徴]

- 1．当システムは、データ入力、データベース、経営試算、経営ビジョン策定で構成されている（図1）。
- 2．データ入力は、データベースを利用することで少ないキー操作で短時間（20分程度）に入力できる（図1）。
- 3．経営試算結果は、試算結果表示シートと計画策定支援シートで構成されている。
 - 1）試算結果表示シートでは、試算計画法による経営計画を自動計算し、主要経営指標、経営収支構造、旬別所要労働時間等を表示できる（図2）。さらに、役員会等協議の場で利用できる感度分析機能（価格・収量・経営規模等が経営に与える影響を表示する）、結果比較機能（複数の試算結果を同時に表示する）を有する。
 - 2）計画策定支援シートでは、(1)農地集積見込みに応じた経営試算（中期経営計画）、(2)経営規模に応じた必要機械装備（機械施設装備計画）、(3)所有する機械装備の更新時期、必要資金（機械施設更新計画）、(4)販売チャネル、販売商品別の販売計画（販売計画）を短時間で策定できる（図1）。
- 4．経営ビジョン策定シートは、経営環境分析シートとアクションプラン策定シートで構成されている。役員会等協議の場で意見を収集しながら利用することで、経営の方向性や課題解決策を参加者の意識統一を図りながら体系的に検討できる（表1）。経営環境分析シートでは、経営の内部環境（強み・弱み）、外部環境（機会・脅威）の分析に基づく経営の方向性や経営課題を抽出できる。アクションプラン策定シートは、抽出された経営課題を組織運営と関連づけの下、具体的解決策を体系的に検討できる。

[成果の活用面・留意点]

- 1．当システムの機能を一部改良し、農業経営ハンドブック（2007年）用経営試算ツールとして活用する。
- 2．経営ビジョン策定シートは、プロトタイプモデルであり、適用事例を蓄積した上で、部分改良を行う必要がある。

[具体的データ]

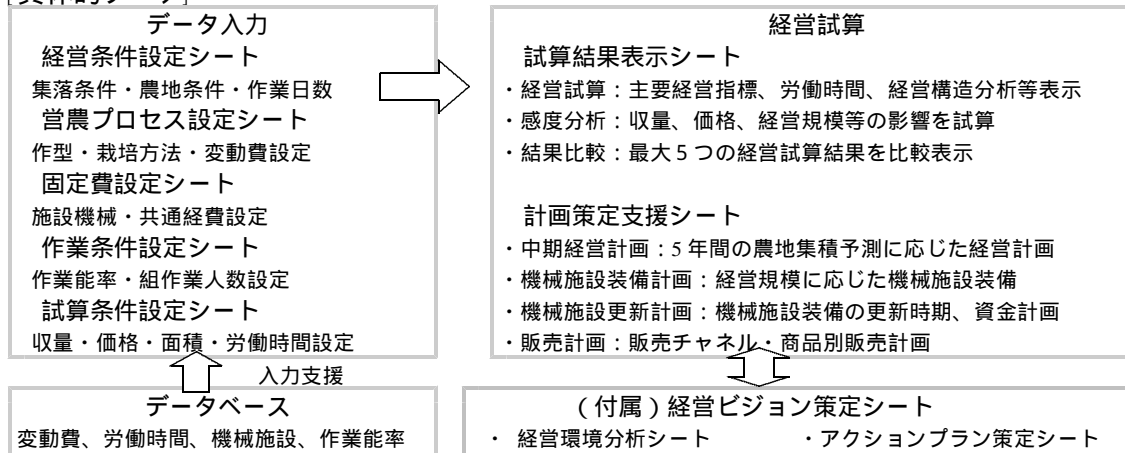


図1 集落営農経営計画策定支援システムの概要



図2 経営試算結果画面の一例

表1 経営ビジョン策定シート(集約シート)

経営環境分析シート集約表			アクションプラン策定シート集約表						
経営理念	経営の方向性	経営課題	目標	解決策	1年	2年	3年	4年	5年
SWOT分析	強み								
	弱み								
	機会	→							
	脅威								

注) 当シートは、経営環境分析シート、アクションプラン策定シート検討結果の集約用に作成したものである。

[その他]

研究課題名

大課題名：新たな研究分野における重点課題

中課題名：生産組織の経営構造・階層構成の分析・評価技術の開発

小課題名：中山間地域における地域営農支援システムの開発

研究担当者：藤井吉隆、中田俊之（H17～18年）、中山孝彦（H16～H17年）

その他特記事項：平成18年度近畿中国四国地域農業の新技术
平成18年度近畿中国四国農業試験研究成果情報